

次に深さの限定のルールとしては、①区画の選定時と ②土壌の試料採取時の２段階があるが、①区画の選定時においては、試料採取等の対象となる単位区画を選定するに当たっては、単位区画において行われる土地の形質の変更の最も深い部分の深さ（最大形質変更深さ）より1mを超える深さにのみ汚染のおそれが生じた場所の位置がある単位区画については、試料採取等の対象としないことができる。

ことに留意が必要である。

ここで本設問においては、土地の形質の変更の最も深い部分の深さ（最大形質変更深さ）が1.0mである。1.0mに1mを加えた深さは2.0mであることより、旧地表の汚染のおそれが生じた場所の位置（深さ）の2.2mより浅く、上記の、①区画の選定時における深さの限定のルールに基づき、現地表の対象外区画（汚染のおそれがないと認められる単位区画）に対しては、設問の条件では試料採取等の対象としないことができる。

下図に現地表の対象外区画（汚染のおそれがないと認められる単位区画）を、図2の旧地表の分類図に投影した図を記す。

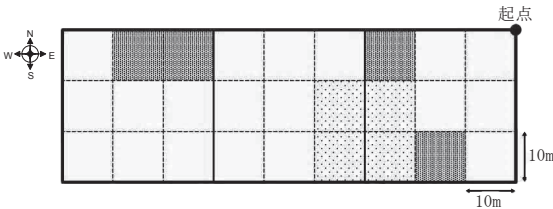
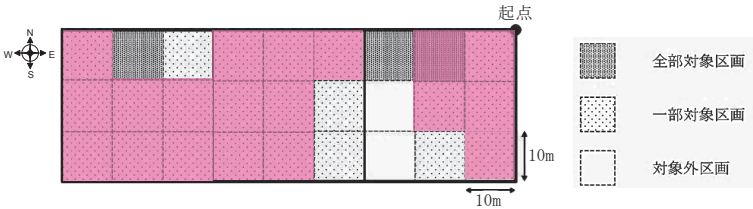


図1 現地表に対する土壌汚染のおそれの区分の分類による単位区画の分類



旧地表に対する土壌汚染のおそれの区分の分類
(赤色の部分は、設問の条件では深さの限定のルールにより試料採取等の対象としないことができる区画となる)

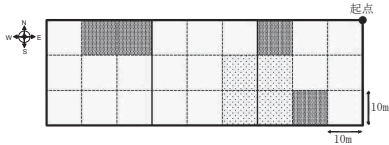


図1 現地表に対する土壌汚染のおそれの区分の分類による単位区画の分類

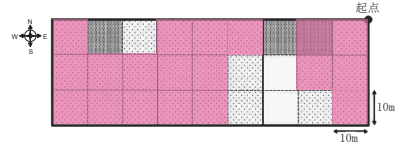
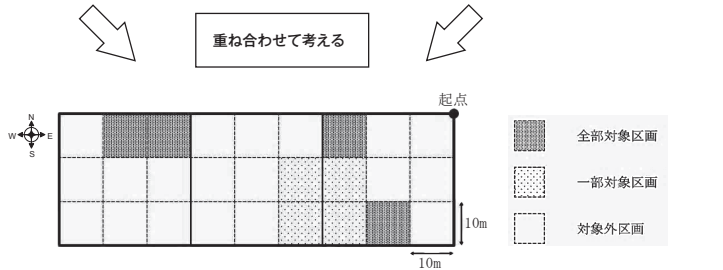
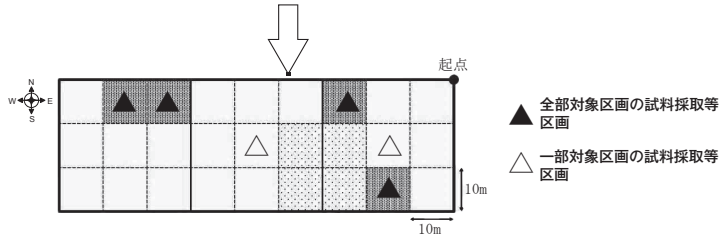


図2 旧地表（深さ2.2m）に対する土壌汚染のおそれの区分の分類による単位区画の分類



現地表と旧地表と土壌汚染のおそれの区分の分類を重ね合わせた後の単位区画の分類



試料採取等区画

現地表と旧地表とを重ね合わせて後の単位区画の分類をもとに作成

最終的な試料採取等区画は、現地表と旧地表と土壌汚染のおそれの区分の分類を重ね合わせた後の単位区画の分類に基づき求められる。

ここで中央ならびに右側の30m格子では、一部対象区画が同じ30m格子内に存在するため、30m格子の中心の単位区画にて一部対象区画の試料採取を行うこととなる。（図中の△の区画）

以上から、正しいものは、(1)である。GL.P222-223

正解 (1)